

私とコンピューターの歴史と雑感



徳島市東部施設課
石山 敬造
Ishiyama Keizo
(環境部門 環境保全計画)

1. はじめに

ホームページ委員会委員長の石山です。今回は委員会の報告ではなく、パソコン、IT ツールについて個人的な見解や感想を述べたいと思います。

2. 私とパソコンの出会い

子供のころからコンピューターが好きでした。1975 年生まれで、小学校の頃はファミリーコンピューターが全盛で、私も例にもれずファミコン少年で、毎日ゲームばかりしていました。

そのファミコンの拡張キットで、ファミリーベーシックというものがあり、それを買って、BASIC という当時主流だったプログラム言語の勉強をして、簡単なゲームを作ったりしていました。



任天堂 ファミリーベーシック

中学生になって、通っていた塾の先生がパソコンが趣味の人で、その影響でパソコンを欲しくなり、親にせがんで NEC の 8801-MA2 を買ってもらいました。パソコンといえば NEC という時代でした。当時は高級品で、15 万円以上したと思います。そんな高価なものを親もよく買ってくれたと思います。それでプログラムの勉強もしたといえましたが、結局ゲームで遊んでいてばかりでした。一番熱中したのは信長の野望でした。それでも、そのような形でパソコンに親しんでいたのが、今の私につながっているのかもしれない。



NEC PC8801-MA2

3. Windows の台頭

私が大学に入学したのが 1994 年でした。その翌年の 1995 年に、その後のパソコンの

スタンダードを決めてしまうことになる基本ソフト、Windows95 が発売されます。それまでは、パソコンを使うには、専門的な勉強が必要でしたが、Windows95 の登場により、誰でも容易にパソコンを使うことができるようになりました。



Windows95

3 回生の時に、必須科目の化学装置設計製図という授業があり、その時に担当の先生（のちに研究室の指導教官

になる先生）が、「これからはパソコンが使えないといけない時代になる。パソコンを全員購入してそれでレポートを作成してください」。と言われ、先生のあっせんで、全員 Windows95 搭載の富士通のパソコンを購入しました。当時はまだ手書きのレポートが普通でした。購入したパソコンを使って、熱交換器の設計と製図を行いました。

4 回生になり、その先生の研究室に所属しました。パソコンが好きな先生で、研究室内にネットワークを張り巡らせて、実験装置もパソコンで制御して、データをとるということをしていました。また発表は PowerPoint で行っていました。その当時はまだ PowerPoint が始



PowerPoint

めたころでした。今では発表やプレゼンは PowerPoint が標準ですが、当時はまだ OHP した。今思えば時代を随分先取りしていたのだと思います。

その頃からインターネットが急速に拡大し始めました。全学生に電子メールアドレスが割り振られ、情報センターでメールをやり取りすることができるようになりました。インターネットを閲覧するためのブラウザは当時は Netscape が主流だったと思います。

また PHS 普及し始めました。携帯電話に比べ値段が安く、学生の間で急速に普及していきました。特に一人暮らしの学生にとっては、いつでもどこでも連絡をとることができるようになり、本当に便利になりました。私も購入しました。アンテナを引き出すトランシーバーのような形状でした。いよいよ IT 代の幕開けです。

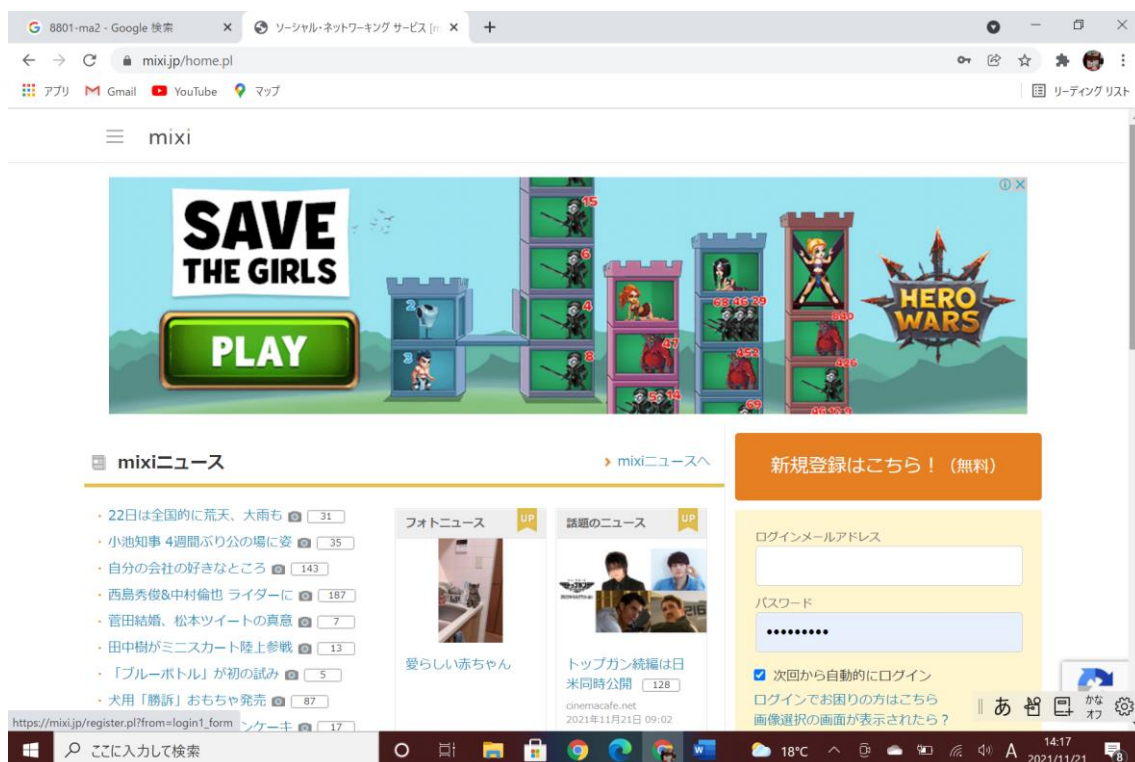


昔の PHS

4. SNS（ソーシャルネットワークサービス）

大学を卒業して、就職で徳島に戻ってきたのが1999年でした。大学時代の友人とは離れ離れになってしまいましたが、電子メールやチャットを使って、仲の良かった友人とは交流を続けました。

ちょうどその頃SNS徐々に普及し始めていました。友人に紹介されて、mixiを始めました。これを使って、昔の友人とも交流を持つことができました。



mixi のトップページ

その後、Facebook、Instagram、Twitter、LINEなども普及しました。それぞれのツールには特徴があるのですが、私は、mixiは旧友・親友との交流、Facebookはもう少し広い交友関係との情報交換、Instagramは有名人の写真や動画の閲覧、Twitterは情報収集、LINEは連絡や日程調整の手段として使っています。その中でも圧倒的に情報の量とスピードに優れているのがTwitterです。ありとあらゆる情報が瞬時に入ってきますが、規制がほとんどないので、違法なものも卑猥なものも入ってきます。使用するのは自己責任です。まだ判断能力の低い子供に使わせるのはおすすめできません。

5. Web 会議

新型コロナの蔓延で、急速にZoomやMicrosoft TeamsといったWeb会議ツールが普及し、一般的になってきました。これは必要に迫られてこのような状況になってきたわけですが、私は本当に良かったことだと思っています。

というのも、それまで会議や講習の受講には必ず現地に集まる必要がありましたが、その必要がなくなり、移動の時間や費用が節減できるようになりました。たった半日や1日

の会議のために、遠くから時間をかけて集まってくるというのは大きな負担です。家庭の都合などで長い時間家を空けられない方もいるかと思いますが、そのような場合でも、わざわざ移動することなく、必要な打合せなどができるようになりました。

また、私の父は視覚障害者なのですが、このような状況になる前から Skype という Web 上の通信システムを使って、友人と定期的に会話や会議をしていました。それは外出が自由にできないという制限があることから、やむを得ず使い始めたのですが、そのおかげで多くの情報を家に居ながらにして得ることができています。



Skype

一方で、すべての作業が Web 上のみで終わるというわけではないと思います。現場を直接見ないと学んだり判断したりできないこともありますし、人の交流などは直接のふれあいが必要だと思います。場合によって使い分ける必要があるのだと思います。

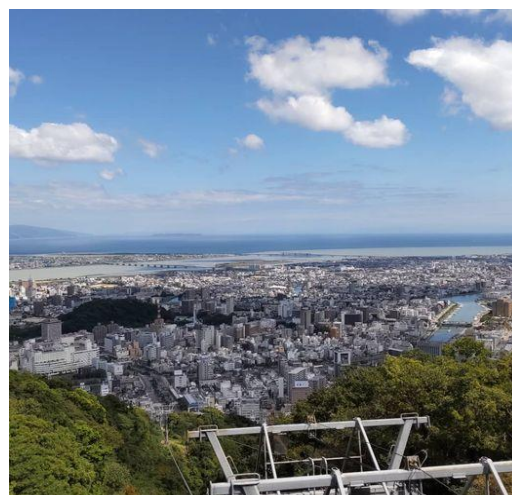
6. 最後に

この 20 数年で IT ツールは急速に普及し、本当に便利な世の中になりました。いつでもどこでも必要な情報が手に入れられ、誰とでも出会い・交流を持つことができます。仕事を含むあらゆる作業が効率よく処理できるようになりました。

一方で、IT ツールを使いこなすための技術の習得に一定の時間や労力がかかります。また、使いこなせる人と使うことができない人のギャップが生じ、それを埋めるためのフォローも必要です。そして依然として、情報漏洩やネットに起因する舌禍事件も後を絶ちません。道具がいくらスマートになっても、結局使う人間が賢く正しく使いこなせなければ、害になるというのはいつまでも変わらない真理だと思います。

GIGA スクール構想で、子供たちにもタブレット端末が渡され、先生も生徒も学ぶことが多岐にわたっています。昔と今では、その困難さの種類や内容は変わっているでしょうが、生きていくのは本当に大変なことだと思います。

人や道具や文化や価値観は変わっても、山、空、海、自然は変わらない、忙しい普段の生活で見失いそうになる生きる意味を、時々眉山に登って見つめなおします。時代により変わるもの変わらないものはありますが、いかなる状況になろうとも、これからも常に自己研鑽し、社会と人の役に立つ働きをしたいと思っています。



眉山山頂からの眺め